

かや 小1 ぶき屋根のススキでフクロウ



1年生は生活科で、季節ごとの自然や遊びをみつけて体験しています。秋の今回は遊びの大先輩、中野愛子さんに来ていただいてススキを使ってフクロウ作りに挑戦しました。

束ねたススキの穂をひっくり返して束ねる作業は、1年生の小さな手では難しかったですが、2人一組のペアで協力しながら頑張りました。最後に、ペアで作ったフクロウの名前と頑張ったところなどを紹介しあいました。

ひと 小2 と町、たんけんしてふれてみよう

2年生は生活科の学習で、おもに公共の施設などをめぐる町たんけんに出かけました。仕事内容や施設についてだけでなく、そこで働いておられる方が何のために、どんな思いで働いておられるか聞いてきました。

↓宮島駐在所上久保さん



↑美山町森林組合菊地さん

美山郵便局武田局長さん↑

美山支所 ↓勝山さん藤原さん



↑美山図書館北村さん

バス事務所勝山さん↑

10 小5 年後の未来はどうなる？美山の農業について考えてみよう



5年生は総合的な学習の時間で美山の農業について学習する中で「10年後の美山の農業」をイメージしてみることにしました。それに先立って、大きな機械を使って地域の方の田んぼの田植えや稲刈りをされている「アグリテック南條」南條さん、集落ごとに田んぼを借り上げて米作りをされている「こと美山」加茂さん、「米農家あずま」東さん

南條さん、子どもたちに米作りの体験をお世話いただいている寺井憲治さん、交流を通して農地保全に取り組まれている「森の教育プロジェクト」中島さんに、それぞれの取組や思い、10年後の展望をうかがいました。

農業の在り方は、10年前と今とでも大きく変容を遂げています。10年後の美山の農業はどのようになっているのでしょうか。



東さん

また、今の子どもたちがどのように関わっていけるでしょうか？さまざまな視点からお話をうかがうことで、より深く考察することができました。



加茂さん



中島さん

寺井さん

HAPPY 美山! 「美山のふくし」は「笑顔の福祉」

小4



4年生は、地域の福祉について学習する中で、コロナ禍でも取り組める内容をということで、やすらぎホームとこぶしの里に協力いただき、オンラインの交流に取り組みました。事前にやすらぎホームから谷口さん

に教室へ来ていただき、お話をうかがった上で、オンラインでも可能な交流の方法を考えました。また、1回きりの取組ではなく、2回ずつ交流することで前回の反省を活かして、より充実した内容で交流が図れるようにアイデアを出しました。それぞれの施設の皆さんからも楽しかった、嬉しかったと声をかけて頂いたり、手づくりのプレゼントを頂いたりして、お互いに温かい気持ちになりました。



今宮城と光照寺をめぐり、川勝 光照 氏と美山の歴史をたどる

小6

6年生は美山の歴史をたどる中で、美山町内にも城跡があることを知ります。1学期に鯖街道のお話をうかがった小畑正彦さんに今宮城跡を案内してもらいました。山の上に残された城跡の形状は、当時の人々がどのように地域を守ってきたか想像させてくれました。



また、戦国時代にこの地域を治めていた川勝光照氏の存在を知り、北川正雄さんの案内で、川勝氏ゆかりのお寺、静原の光照寺も見学しました。当時の美山の様子や鯖街道と、この周辺が栄えた理由などをうかがい、当時の人々の暮らしに思いをはせました。文献など詳しいことは残されていませんが、城跡や、人々の暮らしの痕跡から歴史をひも解くと、今の私たちの暮らしへのつながりを感じます。

棚野の千両祭とは!? 諏訪神社の大祭について教えてもらったよ

小3



また、実際に子どもたちから祭りの奉納芸に携わってこられ、最近では指導も担当されている内牧裕幾さんに学校へお越しいただきました。俵振りをされている写真を見せていただき、どのような思いで祭りに参加されているか、さらに、自分たちも参加するかもしれない祭りについて、子どもたちにもぜひ知ってほしいと話してくださいました。

3年生は美山のお宝をもとめて、鶴ヶ岡で大祭が予定されていた諏訪神社の「棚野の千両祭」についてお話をうかがいました。最初に諏訪神社を実際におとずれ、総代の仲田貴一さん、田中幹生さんに案内していただきました。30年に一度、15年に一度しか開催されない大祭は、その存続が難しいことや、過疎化や高齢化によっても困難な状況になっています。それでも、なんとか工夫して継承していけるように考えておられました。



児童の学校生活や美山学についてホームページでも紹介しています

